

医師確保対策の推進について

【 総務省・文部科学省・厚生労働省 】

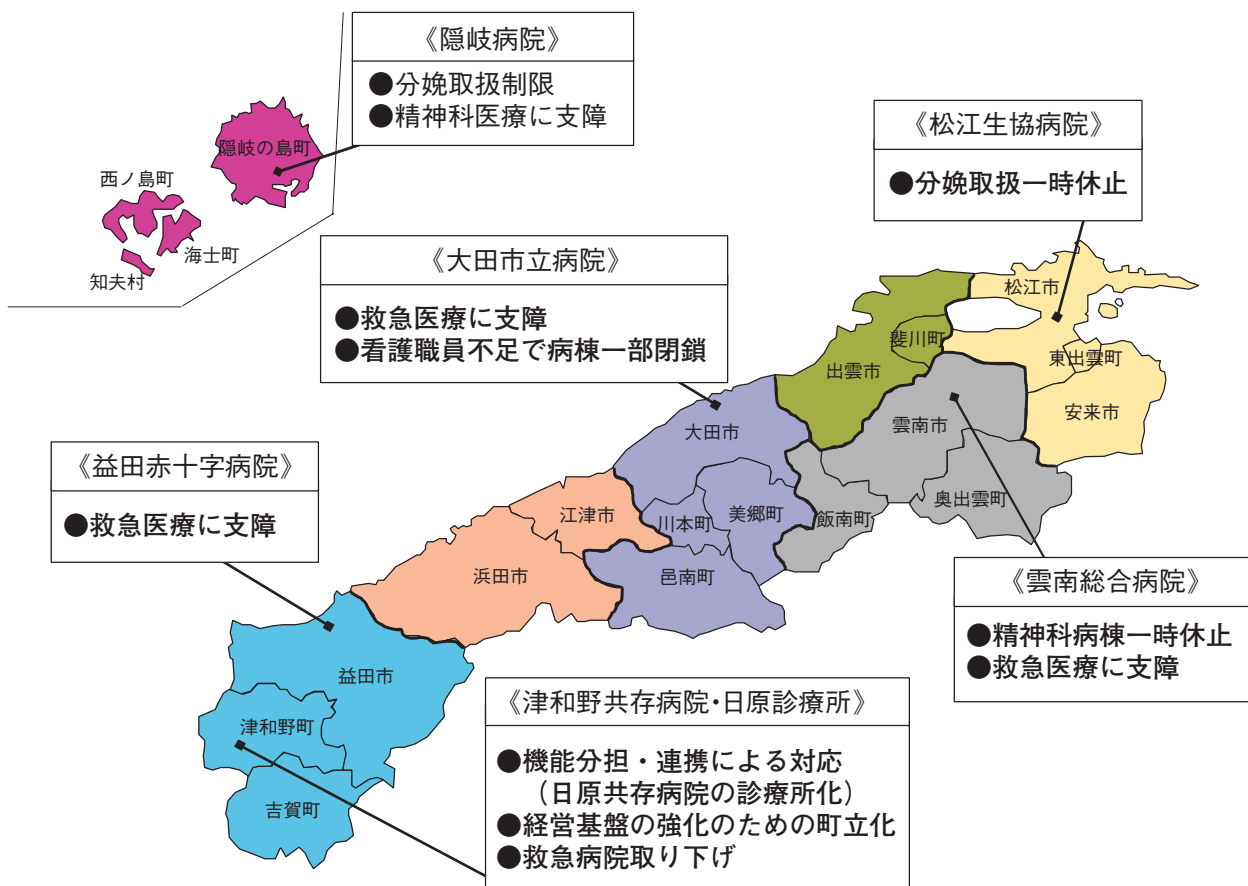
提案・要望の内容

- 1 全国的な医師不足の中で、安心して生活するために不可欠な地域医療は危機に直面しており、抜本的な対策を早急に講ずること。
 - 離島・中山間地域における病院の勤務にインセンティブを与える仕組みを構築すること。
 - 大学病院、都市部の大規模医療機関と小規模の地域医療機関の間を、医師が循環して勤務・研修できるシステムを構築すること。
 - 都市部の研修医集中を是正するため、臨床研修病院の定員を見直すこと。
 - 医師の診療科偏在を是正するための方策を構築すること。
 - 専門医の養成だけでなく、総合医を育てていく仕組みを構築すること。
- 2 国レベルの緊急臨時的な医師派遣については、より効果的なシステムとすること。
- 3 勤務医が疲弊しないよう、勤務環境等の整備を進めるとともに、医療の現状、医療の利用の仕方などについて、国民への広報・啓発を強化すること。

【現状と課題】

- 離島・中山間地域のみならず都市部の病院勤務医の不足が深刻化しており、へき地医療、救急医療や産婦人科医療などの確保に重大な問題が生じ、地域社会に暗い影を落としている。
- 診療科、地域による医師の不足に対して、制度の見直しなどの中長期的な対策とともに、即戦力となる医師の確保が急務である。

医師不足によって起きている深刻な地域医療の状況



【本県の取組状況・方針】

医師を〈呼ぶ〉・〈育てる〉・〈助ける〉で取り組む三本柱の医師確保対策

- 〈呼ぶ〉即戦力となる医師の確保
 - ・ 赤ひげバンクを活用して、県外の医師とネットワークをつくり、地域医療を志す医師を呼び込む
 - ・ 地域医療に将来携わる医師、専門研修を希望する医師を確保し、県立病院等で研修後、地域へ供給
- 〈育てる〉人材の育成
 - ・ 将来、地域勤務に携わる意思のある医学生への地域医療奨学金の貸付
 - ・ 研修医等の定着促進のため、大学や臨床研修病院と連携した研修プログラムの作成支援、医療実習、研修会、講習会や研修ガイダンスなどの開催
 - ・ 女性医師への復帰研修の実施などによる再就業の支援
- 〈助ける〉地域勤務する医師の支援
 - ・ 診療所と病院の医師が交代で勤務するブロック制の推進
 - ・ 診療所で働く意思が学会などで不在となる際の代診医の派遣

【提案要望の効果】

- 県民誰もが、生涯にわたり安心して生活を送ることができる社会の形成
すべての県民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、適切な医療を確保できる体制の整備

URL:<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryotaisaku/>